

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 2009年1月29日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175200104
法人名	有限会社 エポック
事業所名	グループホーム・ふ・れ・や・か・ひかり館
所在地	網走郡大空町女満別中央37-23 (電話) 0152-74-4321

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年1月20日

【情報提供票より】(20年12月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 16 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	8 人
利用定員数計	9 人
常勤	1 人
非常勤	7 人
常勤換算	4.2 人

(2)建物概要

建物構造	木造造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	15,900(10月~3月暖房費4,200)	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	367 円	昼食	367 円
	夕食	367 円	おやつ	52 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(12月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	0 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	女満別中央病院 ・ あおさぎ歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな環境に立地した2階建ての1ユニットになっています。共有空間は利用者がくつろげる造りになっており、安心して過ごせる落ち着いた雰囲気になっています。利用者の表情は穏やかであり、テレビを観たり、歌を口ずさんだり、本人のペースでゆったりと過ごしています。誕生会・節分・おひな様・敬老会・クリスマス会等ホームでの行事を利用者は楽しみにしています。家族も協力的で、来訪時に自らの知識(便のつくられ方と移動)情報を職員に提供してくれる方もおり、ミニ講習会を開催しています。職員はそれらの知識をケアの向上につなげています。利用者の出来る事や思いを大切に、職員は優しくゆったりとした言葉かけで支援しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	家族の来訪時に生活の様子等を報告し、意見・苦情を言い易い雰囲気づくりに取り組み、利用者が戸外に出られるよう行事を計画し支援しています。職員の研修等については職員それぞれの事情もあり、外部への研修参加には至っていません。自治会に加入し、運営推進会議を開催する等で課題解決につながるよう努めています。避難訓練の実施はこれからとなっています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者の交代等で職員に十分な説明がされておらず、施設長が作成しています。職員は評価を実施する意義について理解しており今回の外部評価の結果については前向きに取り組む姿勢が伺えます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地域代表、町役場職員等を構成メンバーとして、2~3ヶ月に1回運営推進会議を開催し、議事録を作成しています。会議では地域密着型サービス事業所としての今後のあり方、ホーム行事の交通・移動手段、スプリンクラーの設置等についての意見交換をしています。メンバーからの助言で福祉バスをレンタルし、ホーム行事、芝桜公園ツアーに出かけています。当日はメンバー(町職員1名)の方が添乗しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明記し、家族に伝えています。家族の来訪時に、職員は家族が意見・要望を言い易いような雰囲気づくりに取り組んでいます。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、町の広報紙等で情報を得ていますが、地域の行事に参加するまでには至っていません。日々の暮らしの中で、地域住民と挨拶を交わしたり、野菜をいただく等の関係を築き、交流を深めています。ホームの敬老会には踊りのボランティアが来訪し、利用者を楽しませています。

(有) NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「楽・笑・望・光」“いつも楽しく笑いを絶やさず、この先こうありたいと希望を持ち、光ある生活の主人公になろう”と事業所独自の理念を作り上げています。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は毎月のスタッフ会議で意識確認をしており、日々のケアサービスで実践できるよう取り組んでいます。	<input checked="" type="checkbox"/>	
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しています。日々の暮らしの中で挨拶を交わし野菜をいただく等の関係を築き、交流を深めています。町の広報紙等で情報を得ていますが、地域の一員として地域行事に参加するまでには至っていません。	<input type="checkbox"/>	地域行事に積極的に参加する等、地域との交流・理解を深め、利用者の生活がさらに豊かになるよう取り組むことを期待します。
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者の交代があり、全職員に評価を実施することが伝わっておらず、施設長が作成しています。	<input type="checkbox"/>	職員の気づきやケアの振り返りの活用のためにも、自己評価・外部評価は全職員で取り組み、事業所の質の向上に繋げることを期待します。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2～3ヶ月に1回開催しています。地域代表、町役場職員を構成メンバーとして意見交換し、議事録を作成していますが、家族等への配布はされていません。	<input type="checkbox"/>	地域に理解と協力を得るための大切な機会として、定期的な開催や議事録についても家族等へ配布し、情報を共有することを望みます。家族の参加やメンバーのあり方等についても検討し、さらに会議の活性化を図り、運営に活かせるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話連絡、訪問により事業所としての関わりや疑問点等があれば、市町村の担当者と話し合い情報を提供しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に生活の様子や健康状態・職員の異動等を報告しています。緊急時には電話で連絡し、金銭出納に関しては預金が少なくなった時、家族に領収書を確認してもらい内容を明確にしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は家族の来訪時に意見・要望等が言いやすい雰囲気づくりに努め、声かけ等の工夫をしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職等があった場合は施設長や職員間で十分検討し、協力体制を築き、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定例会議の中で感染症について勉強会をしています。資料は回覧コーナーに掲示し、情報の共有を図っています。様々な事情で職員が外部研修に参加しづらい面もあります。	○	職員のスキルアップを図るためにも、段階に応じた研修が必要と思われます。計画的な研修会を設け、職員が参加しやすい環境づくりを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は管理者会議等に参加し、交流していますが、職員間の交流はありません。	○	管理者のみならず職員も同業者との交流を持ち、職員同士の交流の中から切磋琢磨して、サービスの質の向上に結びつけることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に本人・家族に見学してもらい、職員との会話やホームの雰囲気馴染めるよう配慮しています。又、面談を通じて本人・家族の意向や不安を受け止め相談しながら利用となります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの経験や得意なことを見極め、場面づくりの支援が行われています。利用者から昔の話を聞いたり、野菜の作り方を教わる等、支え合う関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々の関わり合いの中から一人ひとりの希望・意向の把握に努め、その人らしい暮らしとなるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者主体のプランになるように、定例会議でカンファレンスを行い、本人・家族の希望を聞き、それを反映した介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的な見直しを行うと共に、利用者の状態変化があった場合は、その都度見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の受診、買い物、理美容の訪問等、本人や家族の状況・要望に応じて柔軟な支援をしています。又、遠方の家族が宿泊することもあります。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望するかかりつけ医への定期受診や月2回の訪問看護師により、適切な医療を受けられるよう支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期については、看取り介護の指針が整備されており、契約時に家族に説明をし、同意書を交わしています。利用者の状態変化に応じた対応が出来るよう、かかりつけ医との連携を心掛けています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、さりげない言葉かけや対応に努めています。個人情報の取り扱いについては家族と同意書を交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な一日の流れはありますが、利用者の気持ちを尊重し、状況を見ながら声をかけ、ペースを大切に一人ひとりの思いに配慮した対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同席し、穏やかな雰囲気の中で食事をしています。畑で獲れた野菜をメニューに取り入れたり、利用者一人ひとりの状態にあわせたト口味・刻み食・おかゆ等の工夫をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は決まっていますが、利用者の希望や体調に合わせた入浴の支援を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や力を活かせるように、朝の新聞とりや掃除・編み物・洗濯物たたみ・畑仕事等、一人ひとりの役割や出来る事を大切にしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状況や体調に応じ、畑仕事・買い物・バスツアー旅行等、外に出かけられるよう支援しています。冬場は体力維持のためホーム内で散歩をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は職員の見守りにより、鍵をかけないケアに取り組んでいます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の連絡網を作成し、運営推進会議の中で話し合いがされ検討していますが、避難訓練の実施までには至っていません。	○	災害はいつ起こるかわかりません。早期に、消防署、地域住民の協力を得て、あらゆる場面を想定した避難訓練を実施し、地域と共に安全を確保する体制づくりを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事・水分摂取量を毎日温度板に記入しながら把握しており、一人ひとりの状態に応じて支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は行事の際の写真等を飾り、季節感や生活感を採り入れられるよう工夫しています。温度計・湿度計を設置し、換気にも配慮しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	鏡台・仏壇・椅子・着物等、利用者が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれ、本人が安心して過ごせる居室になっています。		